

ボランティアだより

かすみがうら市

四季の里

第17号
令和4年3月2日
発行

発行 ————— かすみがうら市ボランティア連絡協議会
編集 ————— かすみがうら市ボランティア連絡協議会広報委員会
事務局 ————— かすみがうら市社会福祉協議会内 ☎029-898-2527

新型コロナウイルス感染症により制限のある状況ですが、感染対策をとりながらボランティア活動を行っています！



▲おもちゃ図書館ひよっここの活動の様子



▲手話サークル「山ゆり」の活動の様子



おもちゃ図書館ひよっこ及び手話サークル「山ゆり」の詳細については、2・3ページに掲載しています。



「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰について

キャッチ・ボイスが令和3年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰を受けました。
おめでとうございます。

第七十一回茨城県社会福祉大会の表彰について

第七十一回茨城県社会福祉大会において、志士庫ボランティア、佐賀ボランティア、下大津ボランティア、こぶし会、あすなる会、ひまわり会、コスモス会、らくだ、お話ボランティア「あやとり」、かすみがうら市シルバーリハビリ体操指導士の会、おもちゃ図書館ひよこの計十一団体が茨城県知事表彰を受けました。
おめでとうございます。



おもちゃ図書館再開に向けて

おもちゃ図書館 田口幸次

新型コロナウイルス感染症者数の増加により、公共施設の利用が多々中断され、おもちゃ図書館の開催も中止・再開を繰り返してきました。

昨年度は三月から九月まで中止。開催できたのは十月に入ってからやっと再開しましたが、十二月から再度の中止と再開を繰り返してきました。通常でしたら五十日程度開催できるのですが、僅か十四日の開催に終わりました。今年度も四月から開催できましたが、途中で中止・再開を繰り返してきました。

昨年度のおもちゃ図書館再開については、入場者へ体温・住所・連絡先の電話番号の記入をお願いし、密を避けるため人員を通常十七組程度のところ、七組までとし、貸し出しおもちゃも密になるおもちゃは中止とし、通常の三分の二程度

に制限して再開しました。おもちゃの清掃は開催時間中に、アルコール消毒を実施してきました。

再開当初は利用するお母さん方にも十分に周知することができず、入場制限に戸惑う方も見受けられ、途中でお断りする場合もあり、申し訳なかったと思っています。この記事を書いている令和三年十二月現在、新型コロナウイルス感染者数も少なくなってきましたので、入場人員を十五組にまで緩和できています。



手話サークル「山ゆり」の現状

手話サークル「山ゆり」 河野久美子

私達の手話サークルは、新型コロナウ

イルスの影響で十分な活動ができなくなっています。

また、聞こえない方にとつてのコミュニケーションも困難になっています。聞こえない方は手話だけでなく表情や口の動きを読み取ることがとても重要で、マスク着用により、その読み取りができなくなるからです。

サークルでは透明マスクの着用や、フェイスシールドとマウスシールドの併用などにより、コミュニケーションと感染対策の両方に気を付けながら活動を行っています。

昨年度中止になったかすみがうら市社会福祉協議会が実施している子どもヘルパー派遣事業は今年度再開し、霞ヶ浦北小学校にて手話体験教室が行われました。四年生と手話を通して楽しい時間を持つ事ができ、とても嬉しく思いました。

一日も早くコロナが収束し、マスクの不要な生活が来ることを願っています。

新しい指導士の誕生

かすみがうら市シルバーハビリ

体操指導士の会 齋藤玲子

緊急事態宣言が解除された直後の令和三年十月五日、かすみがうらウエルネスプラザにて、二級養成講習会の初日を迎えることができました。まだ大勢集まる事ができないので、水戸とオンラインで繋いでの講習会。途中、時々音声が目切れることはありませんでしたが、無事に一日目が終了しました。水戸まで行かなくても、講義が受けられるなんてありがたいことです。

二日目以降は、場所をあじさい館に移し、解剖運動学や体操九十二種類をみっちり学んだ受講生。マスク着用・昼食も黙食等厳しい制限の中での講習会でしたが、八名全員が五日間の講義を全て受講し、十一月十一日に、めでたく修了証を手に入れました。

八名の方々が、世のため、人のため、自分のために、高齢者とふれあいながら、楽しく体操指導ができるよう願っています。



講習会で、体操のやり方を学ぶ受講生

いづし会の歩み

いづし会 佐久間美津江

いづし会は平成三年一月から三月まで、社協が主催した「健やかな毎日を送る為の食事」という料理教室の受講生が母体です。終了式の日、局長さんが「学習したお料理を御近所にお裾分けしてあげて下さい。」という挨拶があり、四月からの同好会で、一人暮らしのお弁当作りをする事になりました。五月から始め平成十七年の三月まで、約一万五千個位作りました。

その後、地域福祉ボランティアと変わり、おもちゃ図書館、学校、福祉施設支援、健康増進料理教室等にかかわっています。

コロナの終息を願いながら、今は市内小学校で子供達の見守りを続けています。「いしもありがとう」とか、一年生の子が「なんで一年生の帰り待っててくれるの?」の質問に「みんなが大好きだから」

と返事。

自分を犠牲にボランティアをするのではなく、ボランティアをする事によって、生き生きできる様な活動が、自分をそして地域を活性化させるのではないかと信じ、今私達にできる事は何か、みんなで知恵を出しあって、これからも明るく元気で、活動を続けていきたいと願っています。



「あやとり」の活動について

お話相手ボランティア「あやとり」

額賀静子

私達は一人暮らしの方に「お元氣ですか」と電話で安否確認をするボランティアです。

オレオレ詐欺が多い昨今、電話での対応が難しいです。さらにコロナ禍での活動は大変です。昨年度は、市内中学生の受験の為にマスク作りをしました。裁縫が苦手で大変な思いをして仕上げました。ミシン、針仕事を何年もしていない私達が提出できて良かった事を思い出します。

昨年度から、活動する時には、念入りに電話やテーブルなどを除菌しています。が、今年度になって二人での活動でも席を背中合せで電話をかけます。電話をかけて出てくださると嬉しくなり、話かけに応じて頂き、最後にありがとうと言っていただけの時はなお嬉しくなります。



あやとりの活動の様子

ボランティアをしていて良かったと感じる時です。

これからも「あやとり」は力を合せて頑張りますので、皆様からの心の声をお聴かせください。宜しくお願い致します。

サークル仲間を募集中です。

愛ネットワークの活動について

愛ネットワーク 川村正子

私達「愛ネットワーク」は主に障がいのある方々を対象に、施設や個人宅にお伺いして、身近なところのお手伝いや、話し相手をさせていただいています。

長引くコロナ禍の中、個人宅へは、回数は少し減りましたが、マスク着用で何とか続けることができます。最近では、新たに買物支援、学習支援も始まりました。

ただ、施設への訪問は、インフルエンザ予防の為の期間も含め、約二年間、中止となっています。それまでは月二回、

メンバー数名でお伺いし、入所者の方々の、お葉書きやお手紙等の代筆、お勉強のサポート等、賑やかに楽しくやらせていただいています。

会員同士のたわいないおしゃべりも含め、私達自身も、ボランティアを通して、元気をいただいています。コロナが終息し、また以前の様に活動できることを、切に願っています。



キャッチ・ボイスの活動について

キャッチ・ボイス 川西廣明

私たちのサークルは、全盲や弱視等の難視の方々に対する読書の支援を行っています。難視の方々のためには点字訳書があります。難視の方々のためには音声訳書（音訳）による音訳も日常的に行われていますが、人間の肉声による音訳は長時間の聴取にも疲れないことや、人間のぬくもりが感じられる等から根強い支持が寄せられています。

音訳の対象は文字だけでなく、表やグラフ、イラストおよび写真等も含まれます。列挙された数字の持つ意味や、グラフの示す内容が聞き手に伝えられるかに注意を払います。

また、分野によって独特の表現や読み方があることに留意して、事前に用語の

読み方を確認することも怠ることはできません。

読み上げられた音声は専用のアプリでパソコンに保存します。保存データは、読み方が適切か確認を経て、CDに書き込みます。

本市にはキャッチ・ボイスの他に、市立図書館（あじさい館）で活動する「せせらぎ」という音訳サークルもあり、毎年、キャッチ・ボイスと合同の朗読発表会を行っています。

私たちは会員を募集しています。現会員にはNHKの朗読指導者養成講座や全国巡回朗読講座を受講した人たちが多数在籍しており、その人たちの経験をお伝えして、私たちの活動を次代に繋げることが当面の課題だと思っています。



編集後記

令和三年度の「四季の里」十七号をお届けします。

今号も昨年度に続き

コロナ禍の中での発行となりました。その中で、令和三年九月三十日で非常事態宣言が解除され、十月、十一月と少しずつ活動できる状況になってきました。そして、ボランティア団体の中で、その長年の活動を認められ十一団体が茨城県知事表彰を受けました。このことは特筆すべき喜ばしいことです。

人と人をつなぎ、さりげない言葉のやりとりで励まされるようにボランティアの輪をひろげていけたらと念じます。

コロナ禍の中で、総会、研修会等やむなく中止となりました。来年度は皆さまとお会いして活動できる世の中になりますよう祈るばかりです。

編集委員一同

